

# 固定資産の評価替えの年です

問い合わせ 税務課資産税室 ☎75・8929

## ■評価替えとは

固定資産税は、毎年1月1日現在で土地・家屋・償却資産を所有している人が納める税金です。税額は、固定資産評価額をもとに算出しますが、この評価額を3年に一度見直すことが、地方税法で決められています。

## ●家屋

令和5年中に新築または増築した家屋は、令和6年度評価基準で評価額を決定します。それ以外の家屋は、令和5年度の評価額と令和6年度評価基準に基づいて計算した評価額を比較し、低い額を評価額とします。  
なお、令和2年中に住宅を新築した人は、3年間の減額措置が終わりますので、ご注意ください。

## ■見直しの内容

●土地(宅地) 商業地や住宅地などの利用状況に応じて再区分を行うことにより、一部の地域では、価格水準が見直される場合があります。

ただし、評価額が増加する場合は税額が急増しないようにするため、新たに税金負担を引き上げる「負担調整措置」を行います。

## ●土地(山林)

全国的に山林価格が下落傾向にあるため、評価額の引き下げを行います。また、砂防指定地内の山林については、砂防指定されている地積の割合に応じて、評価額の減額を行います。

## ●償却資産

令和5年中に増加した資産は、令和6年度評価基準で評価額を決定します。異動のない資産は、資産ごとに耐用年数に応じた減価残存率を乗じて評価額を決定します。



土地と家屋の評価額は、4月中旬に固定資産税の納税通知書と一緒に送付する課税明細書で確認できます。



### 土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧・閲覧

納税者が、自分の土地や家屋の評価額が適正か判断できるようにするため、土地・家屋価格等縦覧帳簿を開示します。

**期間** 4月1日(月)～4月30日(火)  
午前8時30分～午後5時15分  
※土・日曜日、祝日は除く

**ところ** 税務課、各支所地域振興課市民生活室

**その他** 本人確認書類などの提示をお願いします。納税者の代理の場合は委任状が必要となります。  
※縦覧：納税者が、ほかの固定資産(土地・家屋)と比較して評価額が適正か判断できる制度  
※閲覧：自分の固定資産(土地・家屋・償却資産)を確認できる制度

### 償却資産の申告はお済みですか？

償却資産の申告書が届いた人は、必ず提出をお願いします。

## 3月は自殺対策強化月間です

# ひとりで悩まなうで

問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53・3364

## ■村上市の自殺の現状

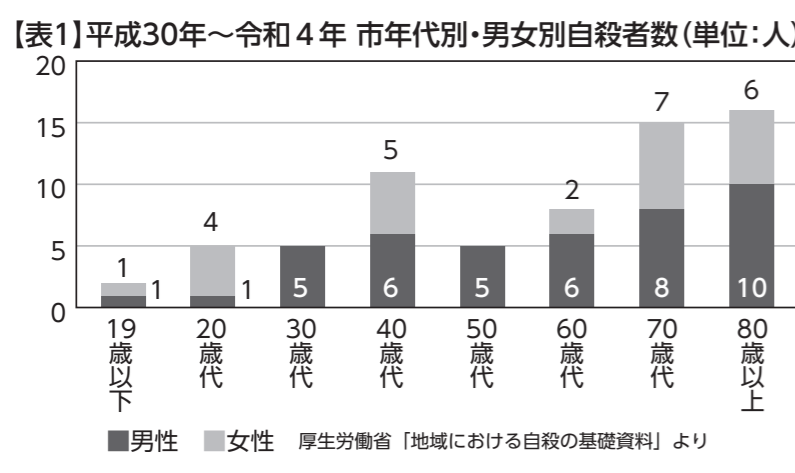
市では、平成30年から令和4年までの5年間に、67人が自殺により命を落としています。このうち70歳代以降は31人(46.3%)と、高齢者が多い傾向にあります(表1)。

## ■高齢者の自殺の原因

高齢者の自殺の原因は、健康問題(身体の病気、うつ病など)や家庭問題(家族の死亡、家族関係の不和など)が上位を占めており、「喪失体験」や「社会的孤立」に絡んだ出来事が引き金となっている場合が多いです。

## ■高齢者のうつ病の症状

高齢者のうつ病は、気分低下やうつ思考よりも「体がだるい」「食欲がなくなる」などの身体的な訴えが目立ちやすい傾向があります。また、「物忘れ」などの症状も見られるため、認知症と間違われやすく、本人も周囲も不調に気づかないうちに状態が悪化し、最終的に自殺に至る可能性があります。また、認知症と比べて、何かの約束をしたことは覚えているが日付などの一部を忘れる、家事などの手順は分かるができないなどの特徴があります。



## 大切な命を守るために

高齢者のうつ病は自覚しにくく、周りから見ても分かりにくい傾向があります。そのため、「いつもと違う」状態に気づくことが大切です。

表情が暗い、口数が減ったなどの状態が続いている人が周囲にいたら、声をかけて話を聞き、下記の相談機関につなぐなど、見守りに協力ください。

表2は、こころの不調のサインです。これらの症状が2週間以上続き、日常生活に支障が出ている人、身体や心の不調などで悩んでいる人は、まずは身近な人や相談機関に相談しましょう。

## 相談機関

- 新潟県こころの相談ダイヤル ☎0570・783・025
- 村上保健所 ☎53・8369
- 保健医療課健康支援室 ☎53・3364
- 介護高齢課地域包括支援センター ☎75・8937
- 各支所地域振興課地域福祉室
  - 荒川 ☎62・3104
  - 神林 ☎66・6113
  - 朝日 ☎72・6887
  - 山北 ☎77・3113

【表2】こころの不調のサイン

- 気分が落ち込み、憂鬱になる
- 楽しみにしていた活動に興味がなくなる
- 普段より食欲が落ちた、または増えた
- ほとんど毎晩眠れない
- 話し方や動作が遅いと指摘される
- いつもより疲れやすい
- 自分は価値のない人間だと感じる
- 物事に集中できなくなっている、考えがまとまらない
- 死について何度も考えるようになっている